

ZimVie T3[®] Implant ベーシックコースTop to Down Treatmentを
可能にする埋入特訓、
そしてシンプル・正確な補綴

日時

2024年5月12日(日)
9:00~16:00 (受付開始8:30)

会場

北海道歯科医師会館
札幌市中央区北1条東9-11



猪子 光晴 先生

北海道北見市にて
「いのご歯科医院」開業

【所属】

- 日本歯周病学会 専門医
- 日本臨床歯周病学会歯周病認定医・指導医
- 日本臨床歯周病学会歯周インプラント認定医・指導医

プログラム

- インプラント治療の原理原則
- T3[®] インプラントのコンセプト
- Top to Down Treatmentにおけるサージカルプランニング
- 正確な埋入のための実習

受講料

30,000円 (消費税・模型代・昼食代・サーティフィケート含む)

WEBからお申込み ▶

- 1 右記QRコードにてお申し込みください。
- 2 お申し込み後、自動返信メールにて『お申し込み確認メール』をお送りします。
- 3 『お申し込み確認メール』受信後、1週間以内に指定口座へ受講料をお振込みください。入金をもちまして、お申し込み完了とさせていただきます。



インプラント手術の際、正確なポジションへの埋入に難渋することがあると思います。ガイドを使用してもシミュレーション通りに埋入できなかったり、ガイドを破損させてしまったりしていませんか？

今回のコースでは今一度埋入の基本を振り返り、より正確な埋入を可能にするための特訓を行います。

Top to Down Treatmentの原則に基づき、ファントムに装着した両側遊離端模型で臼歯部4567に、近遠心・頬舌的な狂いのない正確な埋入を目指します。

ZimVieのイニシャルドリルと2710バーで方向を補正しながら、最終ドリルでより正確な埋入を目指し術中に補正していく、おそらく今までのベーシックコースでは扱ったことがない内容です。

簡易なガイドでもパラレルな複数歯埋入は可能です。フルガイドが必要ない訳ではなく、口腔内という最も正確な咬合器の全体像を見ることが大切です。マイクロは無論、ルーペでも拡大率5倍だと

全体像が把握できません。インプラント手術においては、葉を見て木や幹を見ずではなく、むしろ幹やその下の根の方向が大切です。

根まで見抜くには、術前のCTシミュレーションが大切です。そして視野を広く持ち、対合歯や反対側まで方向を確認してガイドのたわみや片側の浮きを未然に防げるよう、ルーペは拡大率2倍ぐらいで充分です。また、より正確な埋入には、補綴への考慮が必要です。最終的な補綴形態を踏まえ、簡単な印象・咬合採得、インプラントブリッジのVerification Index、セット時の調整方法をステップバイステップでご説明します。IOSでのVerification Indexの必要性についても取り上げます。

今回のコースは、ベーシックを学んでもインプラント手術に自信がないという先生方が対象です。インプラントの機種が変わっても、正確な埋入と補綴に対する原理原則は同じですので、詳しく解説していきます。